

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（湖東地域）第4回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年12月22日（木） 9時30分～11時30分

場 所：湖東合同庁舎3階消費生活センター研修室

出席者：大野 均 委員（甲良町商工会 会長）

河原田 均 委員（公募委員）

見津 京子 委員（日赤奉仕団多賀支部 委員長）

小林 伊三夫委員（公募委員）

式部 綱祐 委員（彦根警察署 交通課課長）

關谷 真治 委員（彦根市都市建設部道路河川課 課長）

竹中 仁美 委員（愛荘町商工会 女性部 部長）

田邊 好彦 委員（公募委員）

轟 慎一 委員（座長）（滋賀県立大学 准教授）

羽田 順行 委員（愛荘町建設・下水道課 課長）

（代理出席：野々村 直幸（愛荘町建設・下水道課 課長補佐））

藤本 一之 委員（多賀町地域整備課 課長）

（代理出席：岸本 雅嗣（多賀町地域整備課 課長補佐））

村岸 勉 委員（甲良町建設水道課 課長）

（代理出席：寺居 友彦（甲良町建設水道課 課長補佐））

矢田 全利 委員（彦根観光協会 専務理事）

山田 裕樹 委員（豊郷町地域整備課 課長）

欠席者：田中 智恵子委員（豊郷町商工会 理事）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・轟座長が挨拶を行った。

（2）第3回地域ワーキングの内容の確認

- ・事務局より第3回地域ワーキングの内容について説明を行った。

（3）資料説明「第4回地域ワーキング」

- ・事務局より第4回地域ワーキングについて説明を行った。

(4) 意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【「地域の声」「地域の重点項目」とりまとめ結果について】

- ・過去3回の皆さんの意見がすべて説明してもらった声や重点項目に落とし込まれているので、異論はない。新たな整備も大事だが、過去に整備されている道路の保守保全にも目を向けて整備を続けてもらいたい。
- ・地域の声の1番、1行目の「障がい者などの自転車・歩行者～」の文章がしっくりこないなので、「障がい者などの歩行者・自転車～」にしてはどうか。
- ・前文で、コロナ禍で通勤手段が変わったことで交通渋滞が厳しいと書かれているが、滋賀県の国道事務所の渋滞対策会議においては、小型車量が減少していると聞いている。交通手段の転換で渋滞が厳しいという表現は検討してもらいたい。
- ・意見の通り、コロナ禍を受けて渋滞と読めてしまうが、国道8号は以前渋滞があることは間違いなく、コロナ禍で通勤手段が変わっていることも事実なので、順番を入れ替えるなど修正し、轟座長に確認して頂き、各委員へフィードバックする。(事務局回答)
- ・SDGsの観点なども前文にある。沿道環境など、道路の樹木は嫌われがちだが、落ち葉拾いが大変なのは分かるけど、立派な樹木が切られるのはいかなものかと思う。環境を破壊してはいけないと思うので、上手に共存できるようなハード・ソフトの枠組みを考えてもらいたい。

【客観的評価マニュアルによる事業の評価について】

- ・甲良町としては拠点間、拠点内でも数か所挙げていただいております、どこも改善してもらいたい箇所になるので、案であるが掲載されているのはありがたい。
- ・多賀町は継続事業が主体だが、引き続き事業を進めてもらえるのはありがたい。
- ・参考として、検討・調査路線になるが、掲載されるのはありがたい。
- ・掲載事業については確実に整備を進めてもらうことで、さまざまな問題の解消につなげるよう、お願いしたい。
- ・ランクA～Cについて、10年スパンは長い。もう少し短くしてもらえればと思う。
- ・今後どのように周知、利活用するのか、5年間でのフィードバックについての考えを教えてください。
- ・滋賀県HPで公表するのは各事務所のパンフと全県版のパンフとなる。事業のフィードバックはこれまで5年に1回であったが、他からも指摘があるので、今後5年間では間隔を短くするなど検討していきたい。(事務局回答)

① 拠点間ネットワーク整備

- ・車の安全性など、信号を付けるよりラウンドアバウトが良い対策だと聞いている。将来的に、環境面でも観光面でも良いと思うが、今後の展開はどうか。
- ・現在、ラウンドアバウト箇所を少しずつ増やしているところである。(事務局回答)

② 拠点内道路空間整備

- ・拠点内の豊郷町内の整備は、特にバイパスができると大型車両が入って歩道がない分非常に危険で通学路もないので、ランクAとなっているのはありがたい。）
- ・拠点内道路空間整備について、ビワイチ・プラスルートの整備に触れているが、具体路線では湖周道路など、ビワイチに関する道路が挙がっていない。前文で書かれているのに、具体的な個所には掲載されていないのはどうなのか。
- ・庁内でも検討している。最終調整中であるが、整備事業として管内にビワイチの整備事業は掲載する方向で考えている。（事務局回答）
- ・⑨湖東愛知川線、愛知川駅近辺は若い人口が流入増で子どもが増えている。朝夕の通学時間帯には非常に危ない。視点を当ててもらったことはありがたい。

【その他】

- ・観光協会としては、世界遺産に向けてトンネルが開通されると観光客の動線が変わり、自動車の方はアクセスが良くなる。姫路城のような駅前の道路整備も検討頂けるとありがたい。
- ・引き続き、県と一緒に町も協力していきたいと思う。自動運転や空飛ぶ自動車の実用化などで、道路構造も変わっている時代だと思う。しっかり情報共有をしながら、遅れないように進めていく必要がある。また、国道8号バイパスが整備進むが、それに向けたまちづくりを含めた道路整備について、町として計画して進めていきたい。
- ・昨年同様、雪のピークはこれからとなる。市町と連携して除雪体制をしっかりとしてもらいたい。
- ・新しい道路整備を進めるにあたっては、その時々で交通事情も変わるので、随時評価しながら、道路標示もトリックアート等、特性や個性を持ったものも取り入れて、交通管理者と密な調整をお願いしたい。
- ・子どもが通学するときに非常に危ない箇所がいっぱいある。交通安全協会やボランティアが立っているが、事故がないようにしてもらいたい。また、整備した道路に標識も色々あるが、必要と思って整備されているはずなのに、消えかかっている危ない箇所もある。安全安心の道ができるようお願いしたい。
- ・山間部の末端まで目を向けてもらいたい。特に山間部には高齢者が多い。雪の多い季節になると動けない人が多くなるので、動けるように除雪対策を。
- ・去年の混乱状況を踏まえて、情報が集約されて、県民も見られるサイトはあるのか。ポータルサイトの立ち上げは難しいとしても、県庁HPのニュース欄でお知らせページに関連リンクを貼るなど、どこを見れば良いのか分からないという状況を回避してもらいたい。
- ・これまで自動車目線で道路整備をしていたと思うが、道路を歩いて分かることもあると思うので、人の目線で物事を進めていただきたいと期待している。
- ・安全対策、緊急対応、維持管理など、パンフには掲載しきれないと思うが大事な観点だと思うので、しっかり整備、推進を図ってもらいたい。また、道路整備をまちづくりにつなげていけるよう、関係者の協力をいただければと思う。